



大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和3年6月30日 第3号(19-45)

発行責任者：校長 関田 誠

まん延防止期間中

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ！』

6/14(月)朝礼校長講話

『真っすぐな少年は大リーグに』の話

～いじめの芽は小さいうちにサッと摘もう～

今朝は7年前に新聞に載っていた、兵庫県の主婦の方の投書を紹介します。

『息子は小学生の頃、クラスのいじめられキャラだったようで、本人もそれを楽しんでいた。ある日の昼休み、いつものように教室で友達数人とふざけていたら、いじりがエスカレートし、息子がもう辛いと思ったことがあったらしい。その時、「もうええやろ、やめたれや」と言って、家が近くで仲の良い友達が止めてくれた。体が大きく、野球をしているその子は、嫌なムードの教室から「行こうぜ」と息子を連れ去ってくれた。「ありがとう」と息子が言うと、「え？何で？」と言って笑ったらしい。その後、私も彼に「あの時はありがとうね」と言ったが、恥ずかしそうに笑った。彼のお母さんにもお礼を言ったら、「そんなことがあったんですか。きっと息子はそれが正しいと思ったんでしょね」と笑った。そんな風に育てられたから真っすぐなんやなと私は感心した。今でも感謝している彼は田中将大君。大リーグヤンキースの投手として一步を踏み出した。』（兵庫県主婦）

先日おこなった運動会は、やりきった達成感や心が震える感動を体験して終わりました。仲間への信頼や新しい発見があったと思います。こうした学校行事を通して、全員で真っ直ぐに一步ずつ成長していきましょう。

さて、6月は『ふれあい月間』です。生徒の皆さんのつながりや絆を、あらためて点検する月です。さきほど紹介した投書の田中将大少年は、クラスのいじめの芽をさりと摘み取りました。いじめの芽は傍観したり放置していると、あっという間に手に負えない大きさに伸びてしまいます。マー君の素晴らしい機転が、教室の嫌なムードを救いました。でも、とっさに



こんなに上手に行動できる人は、現実には多くありません。では、私たち誰でもできることは何ですか？その一つが、『ふれあい月間』で行う『いじめ調査アンケート』に、気になることがあったら書くことです。大宮中にも、眠っているいじめの種は、そこここにあります。いじめの種が芽を出したら素早く摘む。決して傍観しない。この繰り返し、大宮中での（明日も学校に行きたい！）と思える生活を守ります。皆で考えて生活しましょう。

マスクで顔が半分見えない今だからこそ、お互いの表情やしぐさに敏感に！ 😊

授業ぶらっと訪問⑮

6月23日(水) ① 英語 3B 宮本先生

英語は理科室の避暑授業で、今日は12人の発展クラス。最初に富士山の映像が映っています。Have you ever climbed Mt. Fuji?等と英語で教師と生徒がテンポよく会話を始めます。その後、今日の授業の本題。『It for to 構文』です。自作のプレゼンテーションソフトを使って、まずto不定詞構文を示します。To speak Japanese is difficult for foreign people.これは「あちらの人にとっては主語が長い!」と感じて、もっとスマートに主語を短く表すことを好む。そこで別の表現が出てくる。It is difficult for foreign people to speak Japanese.と表す。主語はItで短く、後でtoを使ってItの内容を表すことを好むということを、パワポを使ってスピーディに説明します。その後、様々な例文を挙げて、生徒が読んでいきます。



宮本先生の授業は、新採の一年目から観ており、今年で三年目。この二年と三か月で、授業術が飛躍的に上達しました。まずスピーディ。50分の授業がとても軽快に進みます。次に生徒との良好な関係性。英語の会話を通して、宮本先生の問いに対して、生徒が肩の力を抜いてどんどん発言します。お互いに楽しく授業を進めているのが心地よい。加えて重要な説明が具体的で分かりやすい。文法的な要素は、プレゼンテーションソフトを効果的に使って、短時間で押さえる。これを黒板を使っていたら、時間が掛かります。さらにボソッと言うジョークが楽しい。英語に関係した話の中の一瞬のジョークを、合間にはさみ授業を進めて、生徒を和ませるのが実に上手い。この後、プリントを三枚使って、穴埋めや並べ替えの演習を行っていました。三年生の授業ですから、受験も意識して取り組ませています。生徒のプリントを見ると、短時間で解答を作成していました。着実に力が付いているようです。最後にペアワークで、二人で今日の構文を使った会話練習を行います。ここはちょっと生徒の声が小さかったことが課題といえば課

題。もっと英語を使った会話で、生徒をはじけさせてほしい。今日の授業は、宮本先生が生徒と共に英語の授業で成長している姿を目撃して、大きな感動を覚えた授業となりました。

6月23日(水) ③ 数学 3A 島村先生

少人数で9人の基礎クラスで、エアコンのある視聴覚室で避暑授業です。まず、授業の冒頭に、乗法公式を使った5分間の計算テストを行います。裏面に正解があって、自己採点してファイルに綴じています。島村先生、まず定期考査の振り返りをします。「一学期、二学期の合算が進路の成績になるので油断せず、まだまだ戦いは続きますよ」「ちなみに第二回の定期考査は9月が始まって二週間であります」と伝え、「何だ、今年の夏休みは休めないじゃん」と、生徒の肩が落ちました。

本時のめあて『根号のついた数の加減の計算ができる』です。「 $\sqrt{2} + \sqrt{3} = \sqrt{5}$ は正しいか、どうやって証明する?」生徒が「二乗して $\sqrt{}$ を外す」島村先生「素晴らしい。一緒にやりましょう」

$(\sqrt{2} + \sqrt{3})^2$ と $(\sqrt{5})^2$ を計算。5 + 2 $\sqrt{6}$ と5。明らかに違います。もう一つは無限小数を使う。 $\sqrt{2} = 1.414$ $\sqrt{3} = 1.732$ $\sqrt{5} = 2.236$ 足してみても明らかに違う。「だから正しくないね」。次は、「 $\sqrt{2} + 3\sqrt{2} = 4\sqrt{2}$ は正しいか?」も証明します。結論。 $\sqrt{2} + \sqrt{3} = \sqrt{5} \rightarrow \times$ $3\sqrt{2} + \sqrt{2} = 4\sqrt{2} \rightarrow \bigcirc$ 。 $\sqrt{}$ の中の数が同じ場合、整数部分を加減できると整理します。この原理に、多くの生徒は納得した様子です。ここから実際の計算練習をしていきます。数問終わった後、島村先生が「結局文字式の文字と $\sqrt{}$ の扱いは同じ」ということを生徒に気付かせます。生徒は更に納得します。二枚目のプリントは、難しい計算問題です。島村先生が回って、説明をしながら丸付けをします。全問丸がついた生徒は、席を立って、悩んでいる人に教えに行く学びあい学習がルールです。できた人がつまづいている人に肩を寄せて説明して進めます。島村先生も教えながら「これで



きるのすごくない?」生徒A:「楽勝っす」「俺スゴいな」などと、機嫌良く授業を進めています。最後に授業のまとめとして、根号の加減のコツを整理します。① $\sqrt{}$ の中の数が同じ場合整数部分を計算できる。

②文字式と考え方は一緒。ということを押さえました。授業が終わった後、私は島村先生に悩みを尋ねました。「基礎の生徒は授業では理解してできる。しかし、時間をおいてテストをするとできない。その繰り返しです。結局、家庭でも 30 分でも復習をしないと、一度分かったことが定着しない。家庭の保護者も忙しい中で、それを宿題攻めにするのではなく、生徒が自分から復習に取り組む姿勢を身に付けさせるのが悩みです」と言っていました。①授業⇒②復習⇒③定着⇒④できた！のサイクルを定着させましょう。

6月24日(木) ③ C組技術 増岡先生

この時間は C 組の木工室で、6 人で作品製作の作業の続きです。始まりの挨拶を丁寧に行ってから、増岡先生の今日の授業の説明がありました。授業では何を作っているのかなと手元をのぞいてみると。。。硬い木材(ウォールナット)でバターナイフ、スプーンを作っていました。木の温もりを感じながらの木工作業に、生徒は皆楽しそうな雰囲気です。現在、私の好きな NHK の朝ドラでは、主人公のモネが森林組合に就職して、買い手がつかずに捨てられていく山の木を活用して、新しい木工製品のアイデアを生み出すことに挑戦しています。番組では鉄やプラスチックの存在に圧倒されて、衰退している山の木を産み出す林業の現状の問題も扱っていることを思い出しました。作業の速い生徒は、スプーンをやすりで削ります。ゆっくり取り組んでいる人は、木片にバターナイフのデザインを描いて、卓上糸のこ盤を使って曲線を切ります。木が硬いため、機械を慎重に動かしています。生徒は足のペダルで刃が動く速度をコントロールしながら、慣れた様子で使っています。こうした刃の付いた機械を使うときは、指の怪我が心配です。増岡先生が二台の糸のこ盤の横に付き添って、二人に優しく声をかけながら作業をしていました。二台の糸のこ盤は 10 分間交代で使います。介助員の三宅さんも、生徒を見回りながら「上手にできてきているね」などと声をか

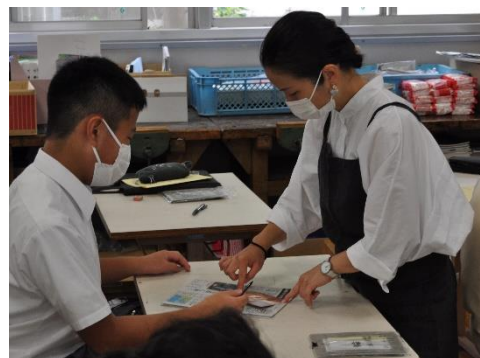


けています。途中集中力が切れかかって、木片を使って積み木(?)をする生徒もいましたが、三宅さんの声掛けもあり、すぐに作業に戻ります。50 分間集中して製作に取り組みました。終了 5 分前に皆で木の削り屑や切り屑を、ミニほうきを使って丁寧に掃除して授業を終わりました。夏休みには家で、完成したバターナイフで食パンにバターを塗ったり、スプーンでヨーグルトを食べたりできるといいですね。

6月25日(金) ② 美術 2A 田口先生

挨拶の後、『定期考査振り返りシート』に取り組みます。シートの内容は、普段の美術の学習について。例えば、配布プリントはファイルに整理してありますか？定期考査前は試験勉強はやりましたか？試験範囲の教科書や資料は見直しましたか？等に、はい・いいえで答える形式です。さらに、ここまで美術で、努力したり頑張ったこと、今後の美術の学習への目標や克服したいことを記述して振り返る欄もありました。田口先生が、このシートを用意した意図は、『学びに向かう姿勢』を具体的に生徒に意識付けしたいこと、今までの学習を振り返り改善できることがないか検討してほしいといった願いがあります。自分の学習状況を、ある程度客観的にながめるメタ認知力を育てることに繋がります。10 分後に制作に入ります。『へら押し銅板レリーフ』を制作しています。柔らかい薄板の銅板に下絵を描いて、プラスチックのへらを使って、裏面から立体感を押し出していきます。完成したら重曹に着けて表面を磨いてから、いぶし液につけて好みの状態の色にします。この時

間はへら出しの仕上げから、いぶし液につける工程でした。田口先生は教室を回りながら、質問や相談を受けて、優しい口調で的確にアドバイスしていました。終了 5 分前になると、片付けが始まり、制作カードに授業の振り返りを記入して終わりました。田口先生、今日も全身から元気いっぱいオーラを出現させながらの、一時間の楽しい授業でした。



C&Cday『カジュアル&チャイムレスデー』

7/10 土曜授業から、C & Cday を始めます。生徒のみなさんは、この日のために気合いを入れて衣服を買い求めてはいけませんよ。あくまで普段着(カジュアルウエア)を、清潔感のある着こなしの姿を見せてくれる事を楽しみにしています。

第 7 3 回 運動会

運動会全体スローガン

『努力勝（どっこいしょう）』

～心を密に感染ではなく観戦を～

今年度も緊急事態宣言の中で、午前中三時間で春の運動会を実施しました。放課後練習の期間は一週間で、競技種目も密集を避けるために、学年種目等も工夫しました。木曜日まで練習や準備は順調に進んだのですが、運動会前日の金曜日は、丸一日かなりの降雨があり、「明日、本当にできるのかな？」という、生徒の不安な声もありました。



当日は朝から曇天。大宮中の校庭は、想定通り水はけが良く水たまりもほとんどない状態でした。朝から会場設営を急ピッチでおこない、8:45、予定どおりに開会しました。

入場行進は無し、応援席から走って開会式体形になりました。私の挨拶では、オリンピック・パラリンピックイヤーにちなみ、一流アスリートの共通のメンタルとして、競技に負けることが大嫌いな『負けず嫌い』の精神を、A・B・C組の各団で発揮してほしいとお願いしました。仲間と協力する真剣な姿勢から、終わった後で達成感や感動が残ることが大切だという話をしました。また、熱中症対策として、マスクは競技中は外し終わったら着けるメリハリをもった運動会にしましょうと伝えました。

準備運動の後、100m 走、1000、1500m 走、色別対抗リレーを行いました。学年が上がるにつれて力強い走りに、応援（拍手や手拍子中心です）の熱



も上がります。学年種目は一年生は『台風の日』でした。途中抜きつ抜かれつの大激戦で、最後はコマ何秒の僅差で、観ていて興奮しました。二年生は『長縄と大縄跳び』の混合競技で、時間内の回数を競いました。本番は白団の調子が絶好調で快勝。勝った白団の歓喜の表情と、敗れた赤団の悔しそうな表情が対照的で印象に残りました。三年生は『毛布の宅配便』で、昨年度の競技を更に難しくした内容でした。様々な形の箱を、呼吸を合わせて毛布を使って飛ばして送ります。これもデッドヒートとなり、僅差の決着となりました。最後に、学年ごとに全員リレーを行いました。

閉会式では、努力賞の黄色団、優勝の赤団を表彰しました。講評では、「今日の運動会で、達成感や心が動く感動がありましたか？」と問いました。



深くうなずく生徒が大勢いる姿を見て、今年度の運動会も、生徒の成長を加速した貴重な機会になったと確信しました。特に、下級生に背中で大宮中生の姿を示した三年生を讃え、運動会を支えてくれた実行委員の生徒に、全員で拍手を送りました。最後に、石田実行委員長と春日副委員長が音頭を取って、「運動会の成功を祝って、お手を拝借。イヨ～」（パン！）で、一本締めと大きな拍手で幕を閉じました。

当初は保護者の観戦は無しで計画していた運動会。学校運営協議会（CS）の会合で、黒澤 PTA 会長から「中学校最後の運動会である、三年生保護者の観戦を認めてほしい」という要望を受け、あらためて密にならない応援ゾーンを設けることで参観を認める変更をしました。参観できなかった一・二年生の保護者の方々には、翌週の火曜日から、動画を Youtube 配信して、当日の雰囲気やお子様の活躍をご覧いただきました。※運動会動画は一学期中の公開です。